

除雪

雪が降っても、安心して暮らせるように

彦根市



■活動内容

開催日時:降雪時

場所:希望者宅

内容:除雪

対象:太平団地にお住まいの80歳以上の独居もしくは夫婦のみの世帯
障害者で除雪を希望される世帯

※平成30年12月末現在、15世帯からの希望あり

■団体名

太平団地除雪ボランティア
代表者 宮田茂

■参加者

利用者:市内(太平団地)の希望世帯 / 活動者:15名

■活動拠点 連絡先

社会福祉法人彦根市社会福祉協議会
地域福祉課地域サポート係
TEL:0749-22-2821 FAX:0749-22-2841
mail:hikoshachiiki@mirror.ocn.ne.jp

■活動のきっかけ・実現までの経緯

平成27年に開設された「サロン」は「待ち」の活動であり、反対に「出向く」活動で地域のために何かできないものか、と仲間と話し合いを行いました。その中で無理なく継続的に続けられる活動をと考えたところ、当団地は降雪も多く、場所によって吹き溜まり約30cmの積雪があり、高齢化で除雪もままならない世帯もあります。そのため家の出入りも不自由されていることをお聞きし、「除雪ボランティア」の立上げを行うことになりました。

活動にはマンパワーが必要であるため回覧板で募集したところ、主旨をご理解いただいた10人が参加くださることになりました。

利用者さんの声

私は数年前に夫を亡くした後期高齢者です。
今は独居生活をしていますが、雪が降る季節になると「雪かき」をすることが体力的に不安で、数cm雪にも辛い思いをしていました。しかし、4年前に除雪ボランティアの方が早期から行っていただくことになり、今ではとても助かっています。聞けば、このような活動をしているのは彦根市で私たちの団地だけのようにお聞きしており、この太平団地に住んでよかったと思っています。
ボランティアの皆様には大変感謝しております。ありがとうございます。

活動者の声

除雪ボランティア活動を開始し今年で4年目の冬を迎えます。当初は除雪希望世帯は8戸でしたが、年々その数も増え、平成30年末には15世帯となりました。毎年12月末時点で80歳以上の独居もしくは夫婦だけの世帯・障害者で除雪を希望される世帯を対象に、活動を行っています。
活動内容は、団地の中において概ね10cmの積雪が発生した時、連絡網にて担当世帯ごとに作業を開始します。具体的には、玄関から生活道路までの除雪と安否確認です。
当該世帯には事前に了解をとっていますので、門扉を開けて除雪を行っていますが、安否確認については昼間に声かけをさせていただいております。早朝の作業時には就寝中の方もおられるので、チャイムを押してまでは行っていません。
日によって1日何回も除雪作業する場合がありますが、当該世帯の方と道等で出会った時に「先日は雪かきしてもらっておおきに！」と声をかけて下さった時には改めてやりがいを感じます。
これからますます高齢化が進む太平団地で、「向こう三軒両隣」「遠い親戚より近くの他人」を合言葉に、仲間と共に弱者と寄り添いながら除雪活動を続けていきたいと思っています。

■活動に対する思いや目標、継続するノウハウ

太平団地は今から約40年前に分譲が開始、若い年齢世帯が移り住んでまいりました。当初、団地内は子どもの黄色い声があちこちから聞こえてきましたが、今では学区内で高齢化率が最も高い地域となりました。このような現実にあって、お互いに助け合うといった相互扶助の機運が高まってまいりました。

現在は15人の高齢者の仲間と活動を行っていますが、持続するには若い人に活動の大切さを理解してもらい協力いただくことが大切であり、機会があるごとに積極的に周知していきたいと考えております。

何かの縁でこの太平団地に住まいするようになった者同士が、支え合いながら手を取り合って安心して住める地域にしたいと思っています。